

第1章 周南市の概況

第1節 周南市の地勢、気象等自然条件

周南市は、山口県の東南部に位置し、北部は中国山地、南部は瀬戸内海に臨み、人口は約150,000人(平成22年国勢調査)、面積は656.32㎢の市です。

臨海部には、石油化学コンビナートが立地し、それに接するようにして東西に市街地が連たんしており、その北部には、なだらかな丘陵地帯が広がっています。

また、南部の島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。

気候については、南部は温暖少雨の瀬戸内型、北部は温度差が大きく降水量の比較的多い内陸型となっています。

第2節 周南市と公害

周南市は、臨海部に立地する周南コンビナートとともに発展してきましたが、昭和30年代半ばから大気汚染、水質汚濁などの公害が表面化してきました。そこで、旧徳山市では昭和39年に「大気汚染防止対策委員会」を、旧新南陽市では昭和42年に「公害防止対策委員会」を発足させ、市民、企業、学識経験者、行政が協力して公害対策に取り組んできました。

その結果、法整備が進んだことともあいまって、大気、水質の汚れは著しく改善されてきています。

しかしながら、昭和50年以降、大気、水質などの環境質は横ばい傾向にあり、昭和32年以降毎年発生が確認されている徳山湾の赤潮、環境基準の達成されていない光化学オキシダント、交通騒音などの環境面での課題も残っています。

図1-1-1 周南市の位置

